

# 海上災害防止センターの油及びHNS事故対応体制について (R6年度)

- ・海上防災能力の強化に取り組むとともに、その知識経験を活かし、陸上防災体制の充実を図り、**海陸一体となった日本の防災体制の強化**に取り組む。
- ・次世代のエネルギーとして**水素やアンモニアへの転換が加速**している中、**漏洩事故や火災事故に的確に対応するための調査研究、体制整備、訓練の提供**を推進する。
- ・本部、西日本支所、九州支所の3拠点体制についても、**新たな時代を見据えた新規顧客の開拓**に向け、**これら事故に対応できる体制整備に取り組み、経営基盤の強化**を図る。

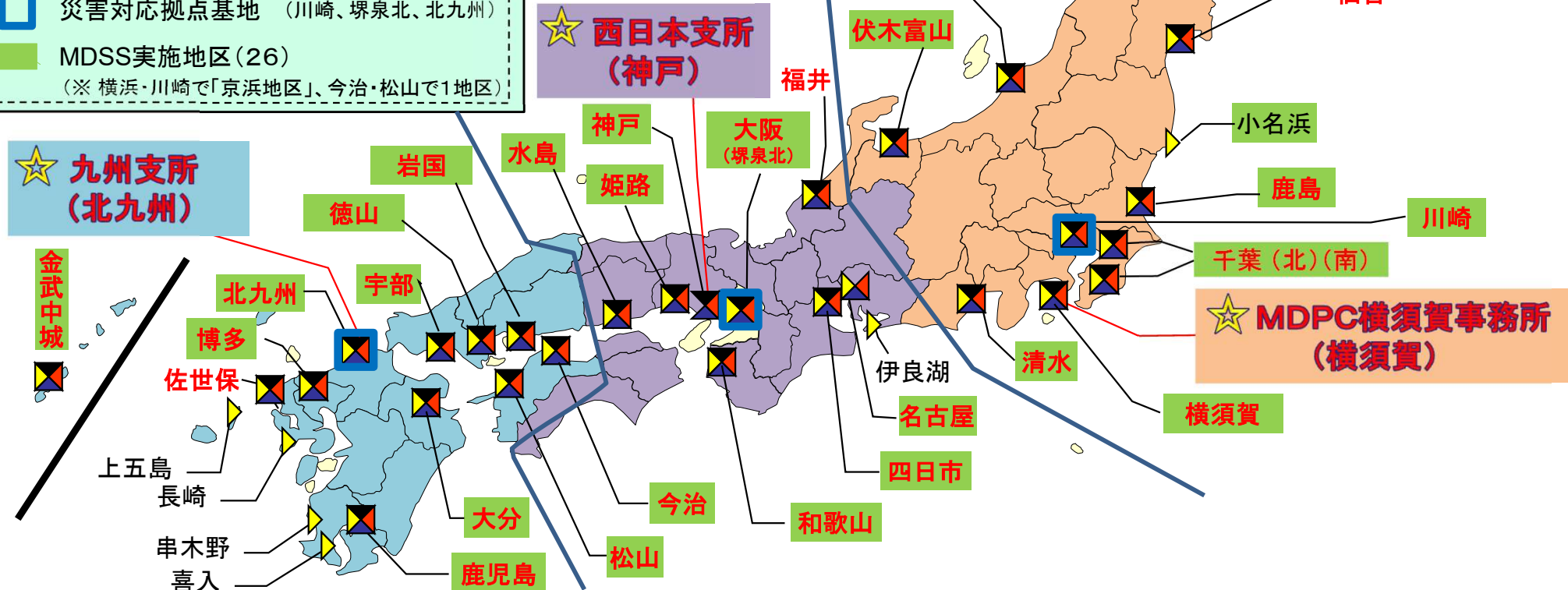
○ 契約防災措置実施者(170社)

○ 資機材・防災要員基地(44基地)  
(うちHNS対応:32基地)

- ▼ 油回収装置等配備
- ▶ 排出特定油防除資材配備
- ◀ HNS資機材配備
- ▲ HNS防災要員配備
- 災害対応拠点基地 (川崎、堺泉北、北九州)
- MDSS実施地区(26)  
(※ 横浜・川崎で「京浜地区」、今治・松山で1地区)

○ 組織

- ・本部(横浜)／横須賀事務所(横須賀)
- ・西日本支所(神戸)
- ・九州支所(北九州)
- ・駐在所(苫小牧、千葉、四日市、水島、岩国)



☆ MDPC横須賀事務所 (横須賀)

☆ 西日本支所 (神戸)

☆ 九州支所 (北九州)